

日本の伝統文化に触れよう

しめ縄づくりに挑戦



令和元年も残すところあと1カ月。そろそろお正月を迎える準備にとりかかる季節になりました。
みなさんの家では年末に「しめ縄」を飾っていますか？今回はふるさと館で開催する、しめ縄づくり講習会の講師 上田橋さんに「しめ縄」について教えていただきました。

▶問合せ ふるさと館 (☎768-0389)

しめ縄とは？
正月になると玄関や軒先に飾られるしめ縄。しめ縄は、日本の伝統文化の一つであり、年神様をお迎えするのにふさわしい神聖な場所であることを示します。また、家の中に災いが入り込むのを防ぐ魔よけになると信じられています。
飾る時期は、12月28・30日から望ましく、29日は「一夜飾り」となる通じ、31日は「一夜飾り」となるため避けましょう。取り外しは1月14日頃とし、翌日15日のとんど焼きで焚き上げることが望ましいといわれています。可燃物として出すこともできるのですが、生ごみとは区別し、お清めの塩と一緒に紙に包むといいですね。

しめ縄に使う「餅わら(餅米のわら)」
餅わらは他のわらに比べて茎が長く粘りがあり、しめ縄づくりに適しています。五穀豊穣に恵まれるよう、その年に収穫した餅わらを使い、町内では飾り物を付けたものを「おしめなわ」と呼んでいました。

しめ縄 飾り物の意味

紙垂…落雷が起こると稲が育ち豊作になることから、電光稲妻をイメージし邪悪なものを追い払うという説もあります。また、稲穂が垂れ下がった形を表し、稲の力強さも示しています。

榎…橙は熟しても木から落ちず、また「代々」に通じることから「代々、繁栄しますように」という願いが込められています。

他にも裏白や水引、榎など、飾り物それぞれの意味を調べてみるのも面白いですね。

「しめ縄づくり」に挑戦しました！

ふるさと館開館以来続いている、「しめ縄づくり講習会」。毎年12月に開催され、今年で37回目を迎えます。講座に先駆け、特派員がしめ縄づくりを体験しました。

しめ縄は刈り取ったわらを3日ほど天日干したのを使います。そのまま使うと固いので、木槌で叩いて少し柔らかくすると扱いやすくなります。



わらを使って編むのって、実際やってみると難しい…。上田橋さんのお手伝いもあり、上手にできました♪(右上写真)

子どもと一緒に楽しみながら作って、日本の伝統文化に触れるいいきっかけにもなりました。



ふるさと館しめ縄づくり講習会 参加者の声 (過去の様子)

飾り物には一つ一つ意味があるんですね。自分で作ったしめ縄を飾るのが楽しみです！



しめ縄を作るときは、神聖なねじり方といわれる「左向き」にねじっていきます。飾りには米のついた稲穂を用いると豊作になるそうですよ。



しめ縄づくり講習会に行ってみよう！

ふるさと館
12月13日(金)・14日(土)

シルバー人材センター
12月26日(木)

※詳細は17ページ

《編集後記》
初心者の私たちでも作ることができました♪世界で一つだけのしめ縄は愛着がわきますよ。みなさんも是非挑戦してみてください！

よいお正月を。

薄れゆく文化を伝えたい

最近では減ってきて寂しく感じています。

お子さんと一緒に作ったり、次の一年の幸せを願いつつ、心を込めて作り上げたしめ縄は、きつと格別なものになります。この機会に体験してみたいかがでしょうか。

私も今は教えていますが、はじめは参加者でした。しめ縄の意味を知り、作り方を伝えることも日本文化を守ることにつながると感じています。これからも日本の伝統文化としてしめ縄を伝えていきたいです。

昔はしめ縄を飾って多くの家庭でも見られましたが、

上田橋 宗雄さん

ふおと にゅ〜す

初開催！佐保姫祭



▲ 11月9日、「歴史街道」佐保姫広場で楊津小学校区まちづくり協議会主催の「佐保姫祭」が開催されました。地域を盛り上げようと企画されたこのイベントには、町内外からたくさんの方が参加。軽トラマルシェ、スタンプラリー、フォトコンテスト、かえっこバザールなどを楽しみ、会場内は笑顔であふれていました。

多くの人で賑わう秋の恒例行事



▲ 11月3日、総合公園などで「第52回いながわまつり 阪神北彩リフェスタ」を開催。約32,000人が参加し、思い思いにまつりを楽しみました。ステージでは、猪名川源流太鼓や猪名川甲英高等学院の学生による獅子舞が披露され、会場を盛り上げました。

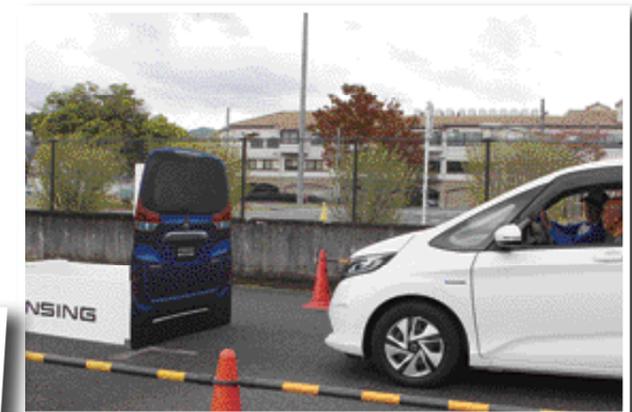


森の中の楽しい1日♪



▲ 10月27日、ゆうだ紫合地区内の町有地で「のせでんアートライン2019」の地域プロジェクト「猪名川の森活用プロジェクト」が行われました。72人の参加者は、日ごろはなかなか体験することができないツリークライミング、マウンテンバイク、ハンモック、バーベキューなど、森の中での遊びを体験し、大人も子どもも楽しい1日を過ごしました。

あなたの運転をチェック！



▲ 10月24日、大陽猪名川自動車学校で町主催による「シルバー安全運転講習会」を開催し、65歳以上の高齢者29人が参加しました。警察署員や教習所の教官による運転チェック、視覚や認知機能の検査のほか、衝突軽減ブレーキを備えた車（サポートカー）の乗車体験などを行い、参加者は自動車の安全な運転方法を再確認する機会となりました。

大自然の中でキャンプ体験！



▲ 11月9日、青少年いこいの家で「秋のジュニアキャンプ」が開催され、町内外から66人の子どもたちが参加しました。日中はみんなでハイキングやさつまいも掘り、夜は野外炊事やキャンプファイヤーなどを行い、野外活動を通じて、自分たちで考える力を身につけ、たくましく成長する機会となりました。

ボランティアガイドと歩く猪名川町



▲ 11月15日、大島小学校区の名所を巡る「観光ボランティアガイドと歩く猪名川町 大島さとおるきコース」が開催されました。参加した16人は、のどかな田園風景の中をゆっくりと歩き、訪れた先々では観光ボランティアガイドの案内を聞きながら、秋の猪名川町を満喫しました。



消費者トラブルに遭わないために

▶ 11月15日、川西市役所で猪名川町・川西市・豊能町と生活協同組合コープこうべによる「高齢者に向けた消費生活情報の啓発活動に関する協定書」の締結式を行いました。これは、上記の4者が連携し、高齢者が悪質商法などの消費生活に関する被害に遭わないよう、コープこうべが行う夕食サポート事業の宅配弁当にチラシなどを添付して注意を促すものです。この事業は、12月から開始予定です。

